

不動産業業況等調査（2024年10月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	10.9 p	△ 14.1 p ↓
不動産流通業(住宅地)	△ 2.3 p	5.3 p ↑
ビル賃貸業	18.4 p	15.8 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	0.0 p →
不動産流通業(住宅地)	△ 7.0 p	7.4 p ↑
ビル賃貸業	7.9 p	5.3 p ↑

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 14.1p 悪化し10.9p。15期連続のプラス水準。

不動産流通業は前回から 5.3p 改善し ▲2.3p。2期連続のマイナス水準。

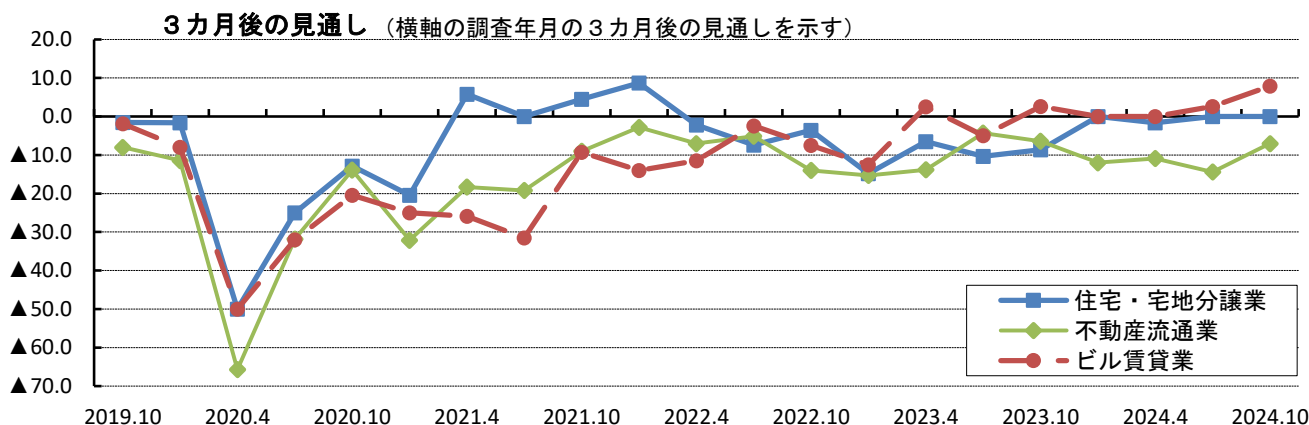
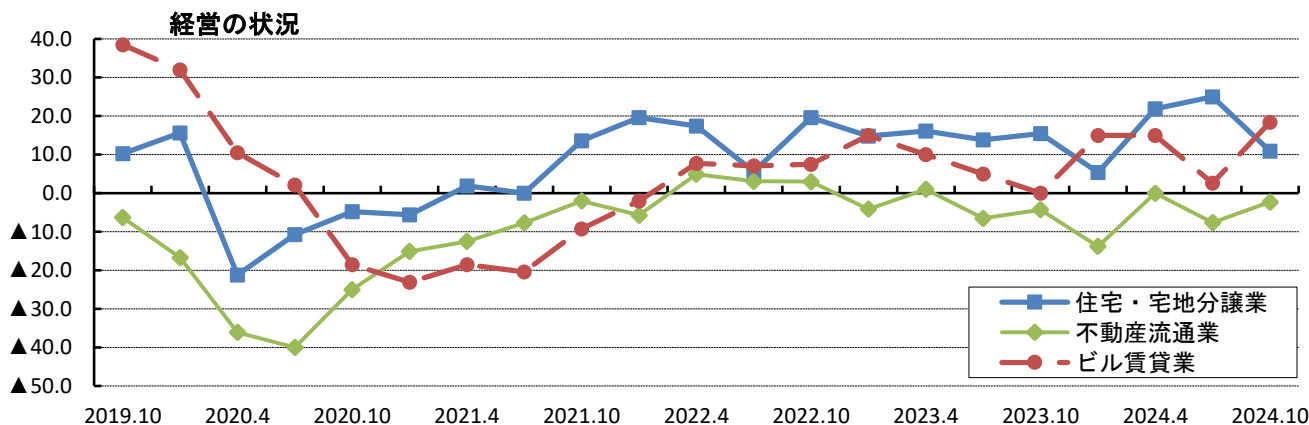
ビル賃貸業は前回から 15.8p 改善し 18.4p。11期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業で変わらず、ビル賃貸業、不動産流通業で改善。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第144号「不動産業業況等調査」